

# 平成 29 年度 事業計画

## I. 事業推進のとらえ方

平成 27 年 10 月に厚生労働省が公表した「患者のための薬局ビジョン」の骨子となる「かかりつけ機能」と「健康サポート機能」の具現化が最も重要な事業になります。調剤偏重の対物業務から対人業務への転換。患者の利便性をしのぐ分業のメリットを最大限に引き出す取り組みが焦点になります。

かかりつけ薬剤師、健康サポート薬局などの認定や調剤報酬が最終目的ではなく、患者のためのファーマシューティカルケアへの熱い思いが根底になれば医薬分業の危機を乗り越えることはできません。我々の患者ファーストのところが県民に伝心するものと信じております。主要事業の多くが、多職種連携の上に成り立っているように、薬剤師だけで患者をフォローすることはできません。医療にかかわる多職種の共同作業が患者ケアには必須になります。

薬剤師が調剤のみに専念する時代から、多方面にわたる公的業務を担う時代に移り変わっております。様々なステージにおいて業務をリードしていけるような専門性とコミュニケーション能力の養成は、薬剤師業務の見える化に果たす役割において甚だ大きいと言わざるを得ません。第 51 回日本薬剤師会学術大会金沢のテーマであります「人として、薬剤師として」。すべての事業がその方向に向けて機動してゆくことを願うものであります。

## II. 主要事業

### 1. かかりつけ薬剤師・薬局機能促進事業

「患者のための薬局ビジョン」の「対物業務から対人業務へ」をめざして専門性やコミュニケーション能力の向上を通じ、患者・住民とのかかわりを深める施策を講ずる。

「薬と健康の週間」を活用した、かかりつけ機能の周知。

### 2. 健康サポート薬局推進事業

健康サポート薬局ビジョンの具体化。理念、基準の周知。

かかりつけ機能に加えて地域包括ケアシステムにおける多職種連携の推進。

要指導医薬品の取扱い支援。

健康サポートのための研修会の運用。

### 3. 健康情報拠点事業

パンフレット、簡易測定などによるカウンセリングと受診勧奨。  
多職種連携による研修会。  
アウトリーチ型情報提供の推進。  
栄養士会と協力して情報発信ツールの作成、利用。

#### 4. しっかり服薬推進事業

在宅や住宅型老人ホームなどのヘルパー・介護士に対して「しっかり服薬」の理解促進を図り、在宅での適正な服薬を推進する。  
介護士対象の研修会の開催。服薬確認ツールの利用推進。  
残薬、ポリファーマシー対策の推進。

#### 5. 在宅医療連携システム推進事業

高齢化社会において在宅の高齢者が増加する中、県医師会を中心とする在宅医療に参加し、多職種とのチーム医療の取り組みを図る。  
無菌調剤室における実地研修の継続。  
認知症ケア、排せつアセスメント研修会等の開催。

#### 6. 薬剤師の認知症対応力向上研修事業

早期に認知症の初期に気づき地域の医療機関や地域包括支援センター等と連携して、適切に対応できるよう研修を実施する。

#### 7. ジェネリック医薬品使用推進事業

石川県ジェネリック医薬品使用推進連絡協議会において関係団体と連携しジェネリック医薬品使用推進についての対策を検討する。

#### 8. 薬剤師生涯学習支援事業

プロフェッショナルスタンダード（PS）講座の開講。  
日薬 J P A L S 登録者のレベル更新・昇格の推進。  
認定薬剤師研修制度（G O 8）プロバイダー事業の推進。  
各種学会・学術講演会等の主催・共催ならびに後援。

#### 9. ICT事業

e 薬.com システムをはじめ、電子おくすり手帳、薬剤師入会支援システムなど関連事業への拡大。  
電子処方箋への検討。

#### 10. 薬物乱用防止事業

危険ドラッグ使用防止啓発活動の推進。  
石川県薬物乱用防止指導員制度への協力。  
公認スポーツファーマシスト活動支援。

11. **自殺・うつ病等に対する医療支援事業**  
向精神薬服薬リスク未然防止事業の推進。  
自殺防止のゲートキーパーとしての資質向上。  
重複・多量投薬者に対する取組。
12. **第 51 回日本薬剤師会学術大会 金沢 開催準備**  
大会に向けてプレゼンテーションのセミナーを開催し、学術的レベルアップと団結を図る。
13. **薬剤師災害支援活動事業**  
業務継続計画（BCP）の支部長・担当者研修の実施。  
災害薬事コーディネーターの継続研修。  
モバイルファーマシー導入に向けての検討。
14. **薬薬連携推進事業**  
チーム医療推進における薬薬薬剤師の相互協力。  
薬局・病院体験見学会の実施。  
薬薬連携研修会の共催。
15. **人を対象とする医学系研究に関する倫理審査事業**  
審査規定（手順書）の理事会承認。  
研究倫理審査委員会の設定。  
委員研修の実施。
16. **子供の健康サポート薬局推進事業**  
お母さんを対象とした子供の薬についての講演会の開催。
17. **会員増強対策の推進**  
薬剤師会会員のメリット、非会員のデメリットの広報発信。  
薬剤師の職場復帰支援。
18. **「薬剤師資格証」への対応**  
日薬発行の IC チップ内蔵身分証明プレート
19. **薬学生実務実習受入支援事業**  
薬学生の実務実習受入の支援。  
北陸地区病院・薬局実務実習調整機構委員会への参加。  
認定実務実習指導薬剤師の養成事業の推進。
20. **支部・職域部会等の活動強化育成事業の推進**  
支部組織活動の活性化支援。

各種職域部会の活動助成。

**21. 学校保健活動の推進**

学校の保健管理・健康教育及び環境衛生検査の充実を図る。

**22. 保険（医療・介護）業務向上施策の推進**

保険業務適正化の推進。

保険薬局個別・集団指導の立会並びに助言。

**23. 医薬品品質管理事業の推進**

「医薬品試験検査実施要項」に基づく計画的検査の実施。

医薬品品質管理事業推進。

**24. 医薬品流通管理事業の推進**

「e 薬.com システム」の普及促進。

医薬品仕入業務の適正厳格化。

**25. 薬事センター事業の推進**

医薬品等情報提供事業の推進。

「薬相談室」の運営。

石川県薬剤師会ホームページの充実。

**26. 広報活動の推進**

「県薬レポート」の編集発刊。

**27. 石川県薬剤師会検査センター事業の推進**

新規需要に対応する施設の拡充。

技能研修と精度管理の推進及び機器整備。

**28. 休日・夜間当番薬局制度の推進**

地域当番薬局確保対策の推進。

**29. 「くすりと健康」アドバイザー体制の推進**

県民健康講座（心と体の健康とくすり講座）の開催。

地域における健康教育などへの開催協力、講師派遣。

「薬と健康の週間」実施。

「健康フェスタいしかわ」協賛。

**30. 高度管理医療機器等販売業等に係る継続研修事業の推進**

継続研修会の開催。

### 31. その他の事業

石川県保険薬局協同組合の助成。

独立行政法人医薬品医療機器総合機構に関する業務受託。

石川県薬剤師会功労者表彰の実施。

日薬共済制度・薬剤師賠償責任保険制度・薬剤師年金制度。

日薬国民年金基金制度・薬剤師個人情報漏洩保険制度等への加入促進。

薬局等開設相談所業務の協力。

DEM並びに医薬品・医療機器等安全性情報制度への参加促進。